

# 心臓聴診学べるアプリ

## テレメディカ 学生や研修医向け

スタートアップのテレメディカ(横浜市)は29日、医学生らが聴診や触診を学べるスマートフォンのアプリ「オースカレイド」を発売した。症状や聴診部位ごとに心音や音量が細かく切り替わるのが特徴だ。既存の研修用機器は数百万円と高価なため、学生や研修医などの購入を見込むという。

アプリは心臓聴診の権威とされる高階経和氏が監修した。アプリ内には通常の心臓音や心雑音など23の症例を収めており、アプリ上の上半身の画像をタップすると、その場所で聞こえる心拍音や異常などを再生する。聴診器を当てる場所ごとに音が変わり、場所が悪いと聞き取りづらくなるなどの様子再現した。

同社は横浜市の助成金を用いてアプリを製品化した。アプリ本体の価格は無料で、症例ごとに課金する。全症例が入ったセットは税別2万4000円。17年に発売したスピーカーと組み合わせた場合は、聴診で異常を診断する技術を学ぶこともできるという。日本語と英語の2カ国語に対応し、国内外の学生や教育機関など向けに売り出す。

知 識 報 道 日 報 社 刊 行 日 本 経 済 新 聞 社 刊 行 日 本 経 済 新 聞 社 刊 行